

石城郡平町新聞社刊 印刷部 印刷 電話 四十四番 郵政掛 郵便局 電話 四十四番 代印 印刷 電話 四十四番 代印 印刷 電話 四十四番

### 古河炭礦労働者

## 十ヶ條の要求

### 六日大會を開いて決議 成行を注視さる

好間村古河炭礦の労働者から成る自治會で二十七日午後一時から同炭礦の坑職クラブで定時總會を開き區長十一名、自治會監査員二名、炭礦側六名、合計十九名の幹部出席し協議の結果来る六日公休を利用して大會を開催した十ヶ條の待遇改善に關する要求を正式に協議し交渉委員をあげて會社に要求する事になつたが、會社が之を承認しなければ労働争議が起るものと見張張工事に關する委員會は二日からの成行を注視されてゐる

要求事項

- 一、退職手当制度制定
- 一、八時間制の實施
- 一、最低賃銀決定(戸主一圓八十錢、家族一圓二十錢)
- 一、入坑手の配置
- 一、水道改善
- 一、抗手當制定
- 一、諸税金會社負擔外一項

▲水道委員會 平町水道局の進退を掌る機關士の技術巧拙は斯業の發展上至大の影響を有して居る、此處に於てか縣では學術、實地ともに優秀なる機關士を採用する事は斯業發達を期する上に於ての唯一なる急務として多年之が養成に務め今回も小名濱町水産試験場に於て之れが講習會を開催した程であるが船体の登録と共に機關士も又海技免狀受有者にあらざれば一般にも採用し得ない事となつたので縣では今回の機關講習終了を機として來る四月中小名濱に於て一般機關士の爲め船船職員試験を施行すべく仙臺通信局に申請中である。

### 少年求職者も増えて

## 大繁忙の平紹介所

### 希望條件が折合はぬ 近く關係校長會で協議

平地方に於ける失業者の群は昨局でもその有意義な事を今更覺今の不景氣で一層増加し平職業紹介所は、昨年頃まで一般紹介所は之等の群で毎日忙殺され余り願ひなかつた婦人等も、平職業紹介所は之のか少年少女の紹介希望者は本年何たるやが昨今漸やく一般に廣に至つて非常に増えなほ各小學よりこの機關を利用する者が日校の卒業期も近づいたの之等に増し多くなつて來た有様で當の職業紹介は特別前途を思つて

### 船舶職員試験

## 小名濱町で行ふ

本縣下に於ける漁船は近來遠洋漁業の盛んになつて來たに伴ひ船体、機關共に大なるを建造据置する等であるが、講師は野村技術師である。

▲女子師範入學者 縣女子師範學校入學を許された本町の者左の如し。

- ▲一部 瀬谷つねよ、遠藤あけ子、高槻高枝、菅波せい、渡邊やす子、丹野たみ

### 堆肥講習會

## 平町農會

▲堆肥講習會 平町農會主催屋外堆肥講習會は四日午前

### 桐谷氏を迎へて

## 面目一新の平陽校

### 時事問題の解釋も説きたい 桐谷文平氏談

平町平陽女學校は校長酒井ミヨが名譽校長に就かれた事は平陽女史が明治三十八年創立以來二校のためのみならず一般社會の十有余年その間校長等の着實なため感謝すべき事である、同校にして献身的な經營は忽ち群を抜いて一般から認められ現在の大範圍等の生徒募集中等であるが、併設し内外の設備全く整ひ女學の新學科をも加へ事務的の技能を校として官公立に劣らぬ大校とも授ける等全く女學校としてのなつたわけであるが、同校では改善を行つた外新たに裁縫教師更に新學期から、最近稍もする數名を招聘する等である、同校が學校教育が德育方面に意を注ぎには寄宿舎の設備があり食費はがなない状態であるを覺り元本縣一日二十五錢内外で足りるといふ社會課長桐谷文平氏を聘して之を廉價で遠方からの入學希望者も各方面の教育を行ふ事になつた多々その外一般入學希望者も各桐谷氏は大正十年三月まで滿七科共非常に増えたとの事である

### 産馬畜産講習

## 石城

▲産馬畜産講習 石城縣長に榮轉、十四年病を得て退郡産馬畜産組合は一日午前九時今日まで平町城山の自宅で時から元郡衙に畜産講習會を開催中である、桐谷氏は語る

▲二毛作が 逐年増加 石城郡下に於ける稲田二毛作栽培に關しては從來郡に於て極力奨励し來つたが昨秋の收穫後其の跡作として作付せる反別は總反別約四百町歩に達した、而して修身は別にやつてゐますから、私には、家庭を中心とした婦人の常識、即ち婦人の公民教を科を教育する外時事問題の解釋をも説いて見たいと思つて抱負を語つてゐるが、桐谷氏

### 赤井武道練習

## 赤井

▲赤井武道練習 赤井青年團では矢野清市氏等が奔走し一日から武道練習を行つてゐたが二十八日納會を兼ね紅白試合を行つた、尙ほ同團では農業の休日を利用して武道の練習を行ふ等である。

### 川前母の會

## 川前村

▲川前母の會 川前村大字川前では今回母の會を組織し二十七日同村小學校に於て發會式を舉行したが助川啓四郎、新妻由五郎、鈴木應善氏等の講演があつた。

### みちのく會

## 水戸

▲みちのく會 水戸技來みちのく會主催平、水戸間選手からた競技大會は廿七日勿來東屋旅館に開催來會四十余名に達し盛會であつた、一回戦に神風會の副將水梨、みちのくに神風會の本將木曾、みちのくに新進鈴木に刺され、さすらひ會の大將黒澤、彌生會の高野に大勝した

▲一等黒澤(漂泊) ▲二等高野(平彌生) ▲三等鈴木(みちのくに) ▲四等根本(同上) ▲五等岡本(平彌生) ▲六等澤田(日立神風) ▲七等赤津(みら) ▲八等緑川(同上) ▲九等武内(磯原さくら會)

